

静岡県内政令指定都市の消費者物価指数の動き

令和6年平均総合指数（前年比）静岡市3年連続上昇、浜松市4年連続上昇

デジタル戦略局 統計調査課

県内政令指定都市（静岡市及び浜松市）の消費者物価指数について、平成27年から令和6年までの年平均の推移、令和6年の10大費目別指数の前年比及び月別の動きを紹介します。

消費者物価指数とは、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格等を総合した物価の変動を時系列的に明らかにするものです。

1 静岡市消費者物価指数

静岡市の令和6年平均の消費者物価指数は、令和2（2020）年を100とした**総合指数が107.8**となり、前年と比べ**2.8%の上昇**で、**3年連続の上昇**となった。

天候により値動きが大きく左右する**生鮮食品を除く総合指数は107.3**となり、前年と比べ**2.6%の上昇**で、こちらも**3年連続の上昇**となった。

生鮮食品と原油価格などの対外的な影響を大きく受けるエネルギーを除いた**生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は106.3**となり、前年と比べ**2.6%の上昇**となった。

(1) 年平均の推移

総合指数は、平成29年、平成30年に原油高を背景にガソリンや電気代などのエネルギー関連品目が上昇し、前年比プラスとなった。令和元年10月に消費税率が8%から10%となる改定が行われたが、飲食料品への軽減税率の適用や幼児教育・保育の無償化の実施により影響は軽微なものとなった。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済の減速懸念を背景とした原油安に伴い電気代やガソリンなどが下落した一方で、「巣ごもり需要」による生鮮野菜などの上昇、夏以降は「GoToトラベル事業」による宿泊料の下落がみられた。令和3年は、4月に大手通信各社の携帯電話の通信料が大幅に値下げされたことにより、年間を通じて下落となった（令和3年7月分から公表の2020年基準改定において、携帯電話通信料の指数における比重（ウエイト）が高まっている）。令和4年にはウクライナ情勢などによる原油価格の上昇や国際的な原材料価格の上昇、円安を背景に、エネルギーや生鮮食品を除く食料を中心に価格転嫁の動きが見られ、3年ぶりの上昇となった。令和5年以降も食料の上昇は続き、令和6年の前年比は2.8%となった。

図1 静岡市消費者物価指数の推移

（2020年=100）

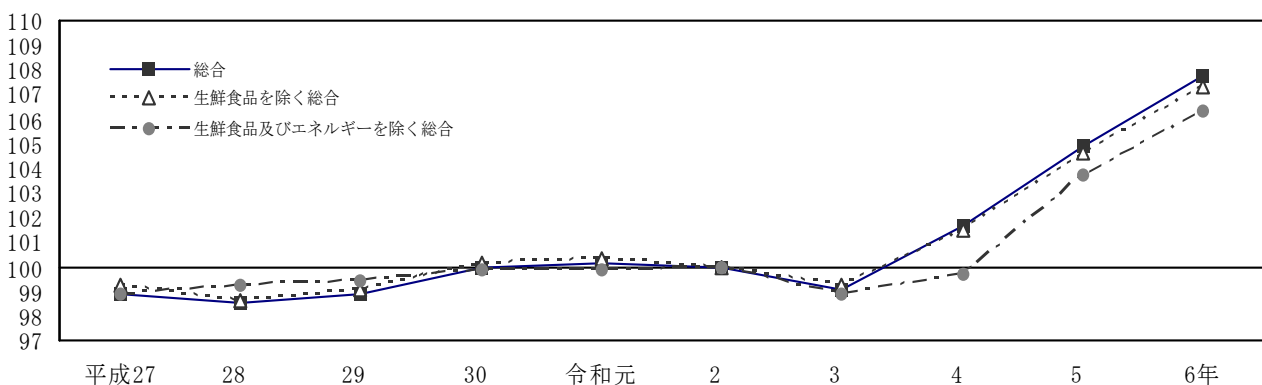


図2 静岡市消費者物価指数の前年比の推移

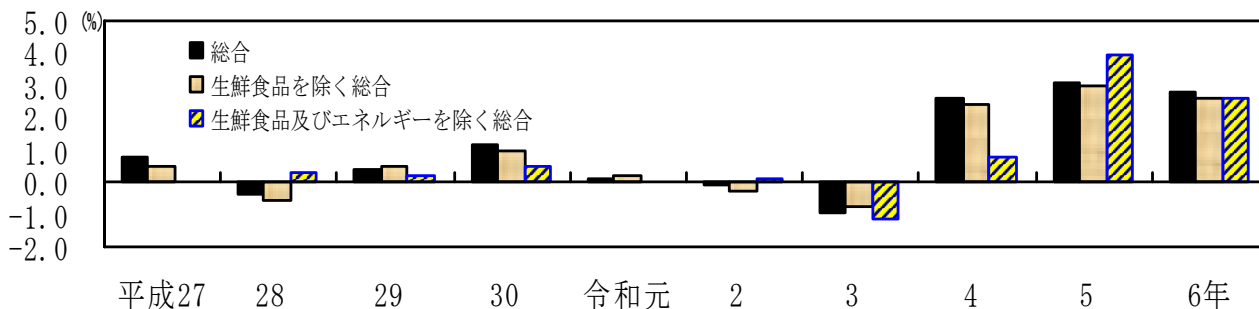


表1 静岡市消費者物価指数及び前年比 (2020年=100)

		平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
総合	指数	98.9	98.5	98.9	100.0	100.1	100.0	99.1	101.7	104.9	107.8
	前年比(%)	0.8	-0.4	0.4	1.2	0.1	-0.1	-0.9	2.6	3.1	2.8
生鮮食品を除く総合	指数	99.2	98.6	99.1	100.1	100.3	100.0	99.2	101.5	104.6	107.3
	前年比(%)	0.5	-0.6	0.5	1.0	0.2	-0.3	-0.8	2.4	3.0	2.6
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	98.9	99.2	99.4	99.9	99.9	100.0	98.9	99.7	103.7	106.3
	前年比(%)	-	0.3	0.2	0.5	0.0	0.1	-1.1	0.8	3.9	2.6

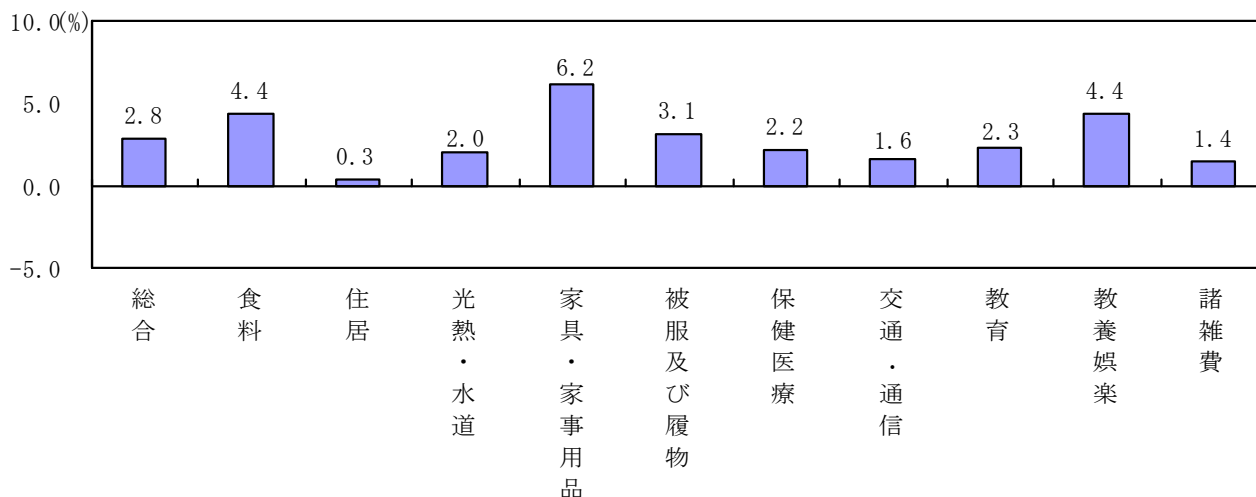
(2) 10大費目別指数の前年比

令和6年平均の10大費目別指数の前年比を見ると、全ての費目でプラスとなった。家庭用耐久財や家事用消耗品などの**家具・家事用品**が原材料価格の高騰などにより前年比6.2%となり、穀類や生鮮野菜などの**食料**、教養娯楽サービスや教養娯楽用品などの**教養娯楽**は前年比4.4%となった。

表2 静岡市消費者物価指数の令和6年10大費目別指数、前年比及び寄与度 (2020年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	107.8	116.1	100.4	114.2	117.8	107.7	103.5	97.0	105.1	112.1	104.8
前年比(%)	2.8	4.4	0.3	2.0	6.2	3.1	2.2	1.6	2.3	4.4	1.4
寄与度	-	1.32	0.06	0.15	0.26	0.11	0.12	0.21	0.05	0.40	0.08

図3 静岡市消費者物価指数の10大費目別指数の前年比



(3) 令和6年の月別の動き

令和2（2020）年を100とした総合指数及び生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は、年間を通じてプラスに推移している。上昇幅は12月が最も大きく、総合指数は4.1%、生鮮食品を除く総合指数は3.5%となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数も、年間を通じてプラスとなった。

図4 静岡市消費者物価指数の前年同月比の動き

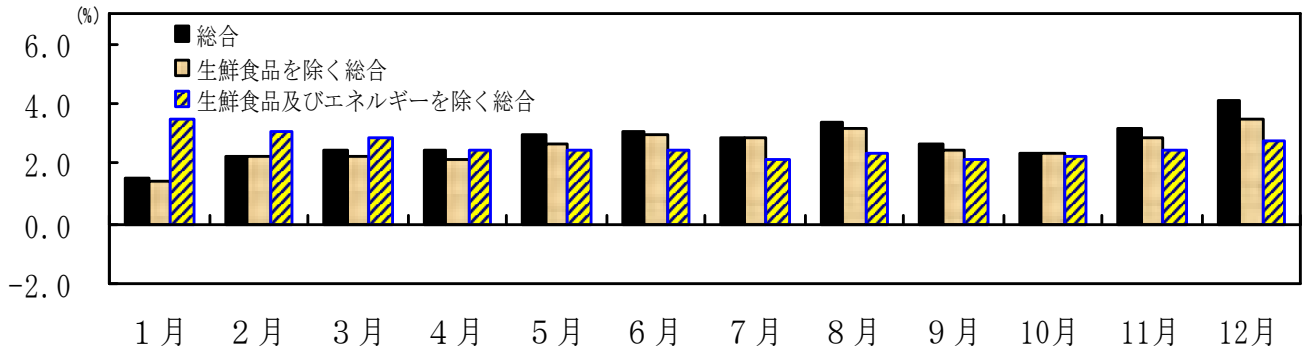


表3 令和6年静岡市消費者物価指数の月別推移

(2020年=100)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	106.1	105.8	106.3	107.1	107.6	107.8	108.1	108.5	108.3	108.9	109.5	110.1
	前年同月比 (%)	1.5	2.2	2.4	2.4	3.0	3.1	2.9	3.4	2.7	2.3	3.2	4.1
	前月比 (%)	0.2	-0.3	0.5	0.7	0.4	0.2	0.3	0.4	-0.2	0.6	0.6	0.6
生鮮食品を除く総合	指数	105.6	105.6	106.0	106.5	106.9	107.4	107.8	108.1	107.5	108.1	108.8	109.3
	前年同月比 (%)	1.4	2.2	2.2	2.1	2.7	3.0	2.9	3.2	2.5	2.3	2.9	3.5
	前月比 (%)	0.0	-0.1	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	-0.5	0.6	0.6	0.5
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	105.0	105.0	105.3	105.8	105.9	106.1	106.3	106.7	106.8	107.4	107.8	107.9
	前年同月比 (%)	3.5	3.1	2.9	2.5	2.5	2.4	2.1	2.3	2.1	2.2	2.5	2.8
	前月比 (%)	0.0	0.0	0.3	0.4	0.1	0.2	0.2	0.4	0.1	0.5	0.4	0.1

2 浜松市消費者物価指数

浜松市の令和6年平均の消費者物価指数は、総合指数が109.6となり、前年と比べ3.0%上昇し、4年連続の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は109.2となり、前年と比べ2.9%の上昇でこちらも4年連続の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は108.1で、前年と比べ2.8%の上昇となった。

(1) 年平均の推移

総合指数の前年比は、静岡市と同様、平成28年は原油安などで下落したものの、平成29年、平成30年ではエネルギー関連品目の上昇に伴いプラスとなった。令和元年は消費税率の改定や幼児教育・保育の無償化により上昇幅は縮小した。令和2年は新型コロナウイルス感染症による影響などにより、令和3年は携帯電話の通信料の値下げや住居費の上昇により横ばいで推移していたが、令和4年以降は円安や原油価格の高騰などにより、大きく上昇した。令和6年は前年に引き続き生鮮食品を除く食料などに価格転嫁の動きが見られ、前年比は3.0%となった。

図5 浜松市消費者物価指数の推移

(2020年=100)

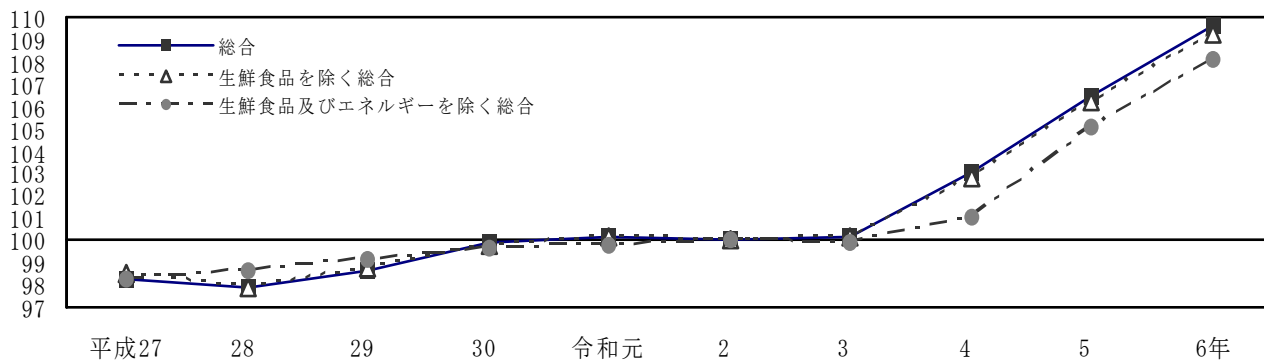


図6 浜松市消費者物価指数の前年比の推移

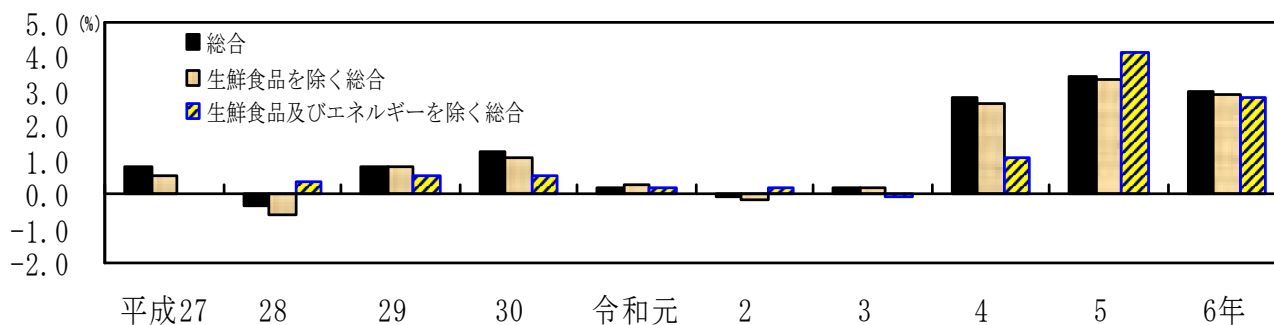


表4 浜松市消費者物価指数及び前年比

(2020年=100)

		平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
総合	指数	98.2	97.9	98.7	99.9	100.1	100.0	100.2	103.0	106.5	109.6
	前年比(%)	0.8	-0.3	0.8	1.2	0.2	-0.1	0.2	2.8	3.4	3.0
生鮮食品を除く総合	指数	98.5	97.9	98.8	99.8	100.2	100.0	100.2	102.8	106.2	109.2
	前年比(%)	0.5	-0.6	0.8	1.1	0.3	-0.2	0.2	2.6	3.3	2.9
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	98.2	98.6	99.1	99.6	99.8	100.0	99.9	101.0	105.1	108.1
	前年比(%)	-	0.4	0.5	0.5	0.2	0.2	-0.1	1.1	4.1	2.8

(2) 10大費目別指数の前年比

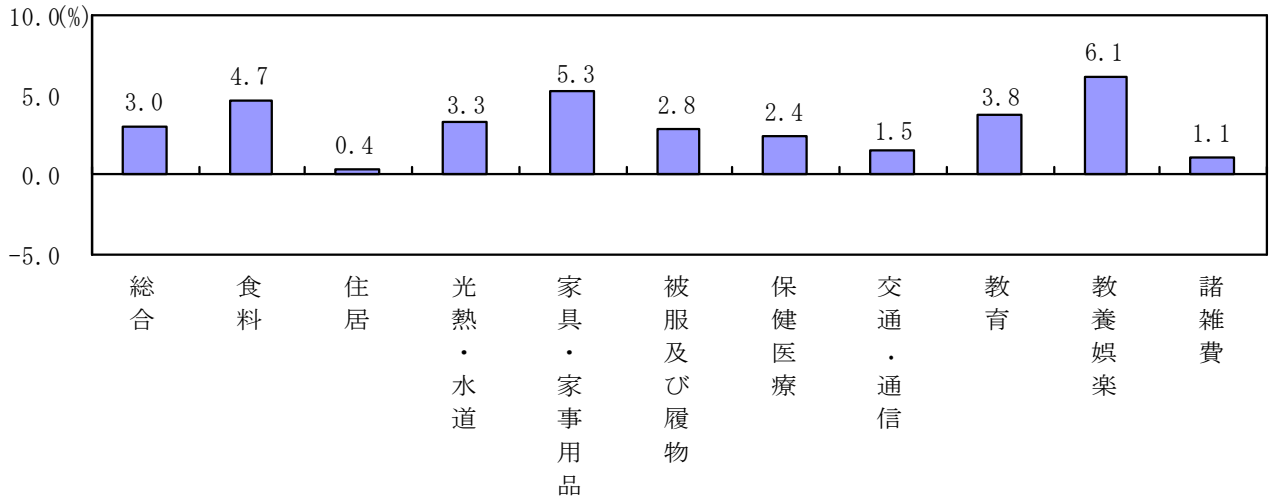
令和6年平均の10大費目別指数の前年比をみると、静岡市同様、全ての項目でプラスとなった。教養娯楽サービスや教養娯楽用品などの**教養娯楽**が大幅に上昇し、前年比6.1%となり、家庭用耐久財や家事用消耗品などの**家具・家事用品**は前年比5.3%となった。

表5 浜松市消費者物価指数の令和6年10大費目別指数、前年比及び寄与度

(2020年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	109.6	116.7	107.2	114.4	122.5	110.4	103.7	99.7	98.0	113.7	103.0
前年比(%)	3.0	4.7	0.4	3.3	5.3	2.8	2.4	1.5	3.8	6.1	1.1
寄与度	-	1.29	0.08	0.24	0.24	0.09	0.12	0.22	0.08	0.56	0.07

図7 浜松市消費者物価指数の10大費目別指数の前年比



(3) 令和6年の月別の動き

令和2（2020）年を100とした総合指数及び生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は、年間を通じてプラスとなった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は、前年同月と比べ、1月に最も高い3.9%の上昇となり、年間を通じて2～4%前後で推移している。

図8 浜松市消費者物価指数の前年同月比の動き

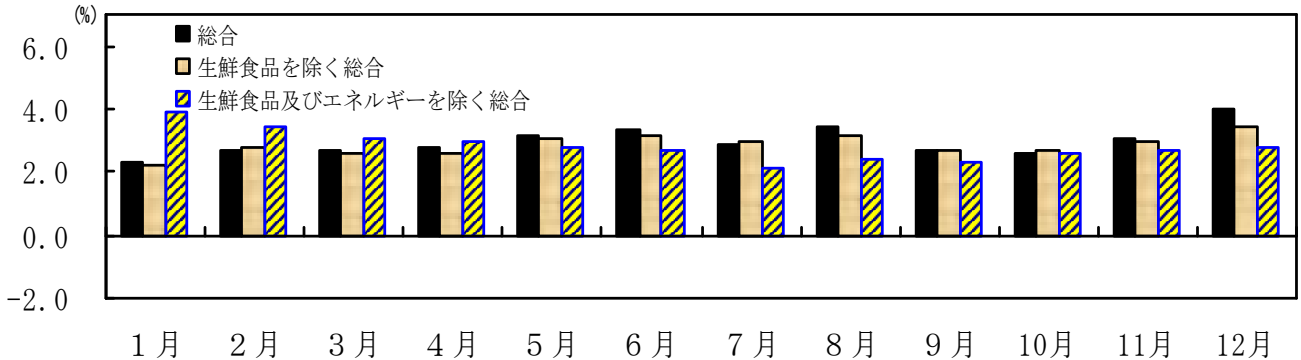


表6 令和6年浜松市消費者物価指数の月別推移

(2020年=100)

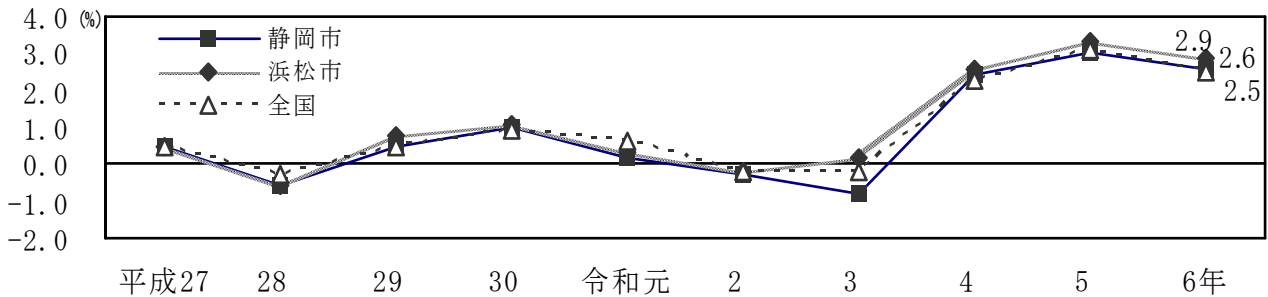
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	107.9	107.9	108.2	108.8	109.4	109.4	109.7	110.4	110.1	110.9	111.3	111.8
	前年同月比 (%)	2.3	2.7	2.7	2.8	3.2	3.3	2.9	3.4	2.7	2.6	3.1	4.0
	前月比 (%)	0.3	-0.1	0.4	0.5	0.5	0.1	0.3	0.6	-0.3	0.7	0.4	0.5
生鮮食品を除く総合	指数	107.5	107.6	107.9	108.4	108.9	109.2	109.5	110.1	109.6	110.3	110.6	111.0
	前年同月比 (%)	2.2	2.8	2.6	2.6	3.1	3.2	3.0	3.2	2.7	2.7	3.0	3.4
	前月比 (%)	0.2	0.0	0.3	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	-0.4	0.6	0.3	0.4
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	106.7	106.7	107.1	107.5	107.7	107.8	107.9	108.6	108.7	109.4	109.5	109.5
	前年同月比 (%)	3.9	3.4	3.1	3.0	2.8	2.7	2.1	2.4	2.3	2.6	2.7	2.8
	前月比 (%)	0.1	0.1	0.3	0.4	0.2	0.1	0.1	0.7	0.1	0.6	0.1	0.1

3 静岡市、浜松市、全国の生鮮食品を除く総合（前年比）の消費者物価指数（参考）

天候要因などによる値動きの激しい生鮮食品を除いた生鮮食品を除く総合指数は、消費者物価の基調をみるためのものであるが、令和6年は前年比で、静岡市が2.6%の上昇、浜松市が2.9%の上昇となった。全国は2.5%の上昇であった。

図9 静岡市、浜松市、全国の生鮮食品を除く総合（前年比）の推移（参考）

(2020年=100)



<コラム 消費者物価指数について>

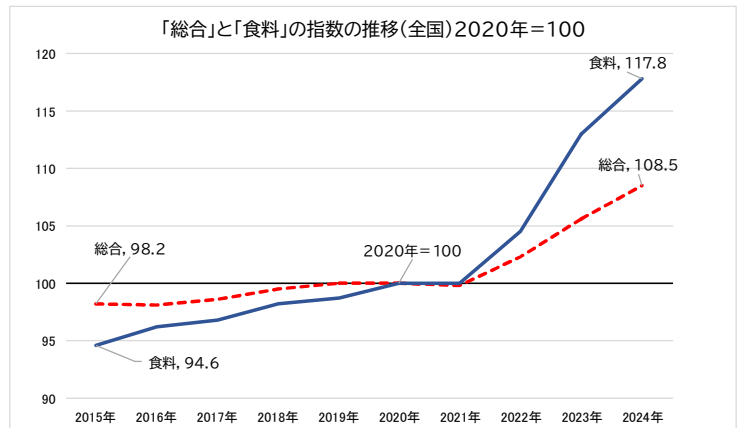
2024年平均 総合指数108.5
前年比2.7%上昇 3年連続の上昇
 変動の大きい生鮮食品を除く総合指数は107.9
 前年比2.5%の上昇で、こちらも3年連続の上昇



2.7%…もっと上がっている感じがするわ

消費者物価指数は5年ごとに基準年を設けており、現在は2020年を基準として公表しています。

「総合」は3年連続の上昇、「食料」も3年連続で上昇、基準年の2020年に100円で買えたものが、2024年では117.8円出さないと買えないことになります。



また、昨年夏の「令和の米騒動」以降、お米の価格は上昇、小売価格は2023年と2024年の12月を比べると約1.7倍に値上がりしており、“前年比2.7%よりもっと上がっている感じがする”のだと思います。

消費者物価指数は、基準とする年の消費支出割合を基に設定した「ウェイト」を用いて計算しています。約500品目の価格やサービス料金などを調査しており、生活に欠かせない「食料品」はウェイトも高めで、「総合」指数への寄与度も高くなります。